

四月十一日

朝椅子二脚デザインする。できる時は五分で出来るし、できない時は一ヶ月経ってもできない。人間の頭は機械とは異なるのが良くわかる。午後椅子ゼミ。夕方六本木国際文化会館で会合。二十時帰宅。

四月十二日

今日から大学院の講義始まる。伝えたい事は山程あるのだけれど聴く耳を持っているのかどうかは知らぬ。砂漠に水をまく感がある。朝、院講議ミースファンデルローエのバルセロナパビリオンとP・ジョンソン、ガラスの家について。まがいの意味の現代性について話す。昼4年課題出題。夕方、明治通りコンヴァージョン。右肩下りの時代のまちづくりについて。明治通りの方々や明和会の人々も含めて、大会議室に超満員の人々が集まった。何とかこのプロジェクト具体化したい。東大松村研の院生にも世話になった。夜西調布へ佐藤健と。夜半十二時前帰宅。若干のスタッフが残って仕事を続けていた。他愛ないもので真夜中に仕事場に帰りついて、灯りがほのかについていて、誰かがただ居座ってコツコツやっているのを見たりすると、マアもう少し頑張ってみるかとおつばやいたりしてしまう。全くバカだねー、我ながら。

四月十三日

朝八時過起床。今日は何本原稿書かなくてはならんのか、自分でも把握できていない。先ず敦煌のホテルからFAXがうてるかどうか確認した方がいいな。西安は大丈夫だろうが、山西省太原はむずかしいかも知れない。二日で五本は無理だね。逃げるしかない。ずいぶんセコイ逃亡者ではある。

九時地下室へ。昨日ベーシーの菅原正二からFAXレターが着いていた。いつもハイセンスな内容で気持ちと和む。十時過NEC企業誌取材。ルポライター吉村克己氏他三名来訪。世田谷村を案内する。十二時過住宅建築編集長海光他来訪。世田谷村を案内する。今日の私はガイドだ。オープンテックハウス打ち合わせ夕方まで続く。

四月十四日 日曜日

今日原稿三本書けないと西域へは行けない。キツイなあ。午前中大学へ。学生のエスキース見る。結局全員怒鳴り散らした。十四時石山研同窓会。大隈会館。石山研OBは現在百二〇名程らしい。今日は六〇名ほどが参集した。早稲田バウハウスの参加者が延べ千人くらいだから私は十年程で随分沢山人間と会った事になる。日経、スタジオポイス二本書き終る。いつ書いたのか自分でわからなくなっているくらいだ。アト室内を書ければ西域に行ける。十七時世田谷戻り。安藤と宮本邸打ち合わせ。二二時三〇分終了。地下の連中に色々伝えたい事があつたのだが結局出来なかつたな。明日は七時〇七分のナリタエクスプレスなので五時起きで荷作りをしなければならぬ。只今一時。疲れたので眠りたいが室内原稿を書く二時間をひねり出すと二時間しか眠れない計算になる。佐藤健は本場に西域まで行くのか、今日になつても半信半疑なのだ。どういふ旅になるのやら想像がつかぬ。

ヤケくそだ。もう眠ってしまおう。明日の成田までの電車で原稿はやつつけてみよう。